学校番号	3005

令和２年度　工業科（建築系）

教科	工業	科目	建築実習	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	建築設計製図（実教出版）・建築計画（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築実習は、単に機器、装置の操作技術や、職業的技能を身につけるだけではなく、安全衛生（５Ｓや報連相など）、技術者としての倫理観、環境及びエネルギーへの配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。

実習の中では、建築製図や建築計画などの専門に関する座学や、理科・数学などの教科で学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

２　学習の到達目標

意匠設計やＣＡＤ製図、環境に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、社会環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築実習に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	建築実習に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	建築実習に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	建築実習に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・製作課題 ・観察記録表 ・レポート、発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・製作課題 ・観察記録表 ・レポート、発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・製作課題 ・観察記録表 ・レポート ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・製作課題 ・観察記録表 ・レポート、発表 ・自己評価・相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
パート1	設計（意匠）実習	1．スケール /モジュール等 2．透視図の着色 3．住宅研究 1）実例を検討分析 2）意匠的感性の習得 3）実例平面図の模写 4．住宅設計 1）講義/エスキス 2）平面図 3）立面図 4）断面図 5）設計主旨	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 b:課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 c:基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 d: 基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作課題 観察記録表 レポート、発表 自己評価及び相互評価等
パート2	CAD実習	1．CAD と手書き製図の相違点の理解 2．基本操作の理解 3．図形の作図 4．建築製図の実践① 5．建築製図の実践②	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:CAD を用いた作図について、特徴と利便性について理解し、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 b:CAD の基本的な操作を理解し、適切にコマンドを用いて作図し、適切な表現をする能力を身につけている、 c:基本的な技術を身につけ、コマンドを活用し、合理的に作図をおこなう技術を適切に活用している。 d:基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作課題 観察記録表 レポート、発表 自己評価及び相互評価等

パート3	環境実習	1．騒音測定 2．音圧分布 3．日影曲線 4．日影図 5．照度分布 6．換気と結露	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生活をとりまく物理現象やその原理に関心を持ち、それが建築物内外の生活に与える影響に関心をもち、意欲的に生活に反映させようとしている。また、教員、グループ員に適時、的確に状況を報告し、安全に作業を進めることができる b:各種測定機器のデータを的確に判断し、適正値や対策方法を思考するする能力が身についている。 c:各種測定機器の的確操作法を身につけるとともに、その集計方法や集約方法などが手順通りに実行できている。 d:基礎的・基本的な知識を身につけ、社会生活における環境の意義や影響を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 観察記録表 レポート、発表 自己評価及び相互評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。